

創立30周年

四国中央市×法皇青年会議所

紙のまちの未来を切り開く **仕事人**



法皇青年会議所
地域の魅力発見委員会 委員長
井原大輔さん (井原工業株式会社)
1994年 三島宮川生まれ
座右の銘「実存は本質に先立つ」

建設に込める地域への思い

東京で学び、建設会社で各地の現場を経験した後、一昨年、故郷へ戻りました。現在は経理を担当し、経営の基盤を学んでいます。

建設業は、多くの専門業者がそれぞれの技術を持ち寄り、人々の生活を支える基盤を築く仕事です。責任は大きいですが、力を合わせて形にしたものが地域に残り、人々の暮らしを支えていくことに大きな誇りを感じます。

故郷を知り、未来を選ぶために

法皇青年会議所では、地域課題の解決に向け、若い世代に地元の魅力を伝える活動に取り組んでいます。高校生を対象に、地域の歴史や文化を題材にした「ご当地落語」を開催したのもその一つです。進学や就職など将来を選ぶとき、「これでいい」ではなく「これがいい」と思える道を選んでほしい。そのためには、地域や地元企業の魅力を伝え続けていきます。

あったかなまちづくり活動支援事業

四国中央「争族ゼロ」シンポジウム

～「円満承継街守り冠基金」の設立による、空き家発生抑制と地域資産の循環モデル構築～

11/3 (火・祝) 13:00～14:30

川之江ふれあい交流センター

空き家の発生を未然に防ぎ、大切な資産を次世代へ円満に引き継ぐために一緒に学びませんか。空き家や相続に関心のある方はぜひご参加ください。

定 30人 ※応募者多数の場合は責任抽選

募 10/30 (金) まで

2次元コードまたは電話で申し込み

問 空き家アドバイザー協議会 四国中央支部事務局 72-6601

¥0
FREE



▲申込先

故郷で
学ぼう

紙 愛媛大学
産業イノベーションセンター

Paper Industry Innovation Center
of Ehime-university

妻島町乙 127 ☎ 22-3230



学生に聞いた

四国中央市
どこが好き？ 地域の人との
つながりが深い。



岩崎沙帆さん

(産業イノベーション学科 4年)

人と人がつなぐ未来に

地元・愛知を離れて四国中央市で暮らし始めると、人との距離の近さに驚きました。

少人数のキャンパスでは、先生や仲間と気軽に話せるため、研究で行き詰まったときも相談しながら前に進むことができました。アルバイト先では地域の方々に親しくしていただき、就職活動に悩んだ際には人生の先輩として相談に乗ってもらったこともあります。このような温かなつながりは四国中央市の魅力の一つと感じました。

卒業後も、ここで育んだ人とのつながりを大切にしながら、企業や技術、地域を結ぶ仕事に挑戦したいです。

紙産業
イノベーションセンター

学部・学科・コース

■ 社会共創学部

産業イノベーション学科
紙産業コース (3・4年生)

■ 大学院農学研究科

バイオマス資源学コース

活動報告

7/25・26 に開催された四国中央紙まつりにイベントブースを出展しました。

